

二、三年前のことです。長年の不摂生が積み重なったためか、大きな病院での精密検査が必要と言われてしまいました。数日にわたって検査を受け、最終日に‘びくびく’しながら検査結果の説明を聞きました。幸い大きな異常はなく、ほっとしたことを今でも思い出します。その際に受けた検査の一つにMRI(核磁気共鳴画像法)によるものがありました。MRIには超電導技術が用いられています。超電導技術は、医療分野以外にも、エネルギー・電力分野、産業・輸送分野など、多くの方面で使われようとしています。

今月号は「超電導・リニア技術とその応用」という特集をお

届けしました。鉄道分野で、「超電導・リニア技術」と言えば、「リニアモーターカー」のことを思い浮かべる方も多いと思いますが、本特集の記事をご覧いただければ、これまで超電導磁気浮上式鉄道の開発で培った各技術が、在来方式鉄道や一般分野に適用されつつあることが、その開発過程や最新の研究の様子も含めておわかりいただけるものと思います。

次号は「センシング・モニタリング」について特集します。これらの研究開発状況について幅広く紹介することを予定していますので、ご期待下さい。(N.M.)